

実施主体
千葉大学工学部・柘植喜治研究室、
岐阜未来研究団

実施期間
2001年9月

本人の役割
引率および現地コーディネータ、調査指揮、
デザイン制作指揮、アコモデーション手配

スタッフ
引率1名★、調査支援2名、参加学生9名(千葉
大学、岐阜大学、横浜国立大学)、アドバイザー
5名

千葉大学柘植喜治研究室を中心とした学生が、岐阜市の浄土真宗円徳寺、岐阜大学、およびぎふまちづくりセンターの協力を得て、岐阜駅前広場のデザインに関する合宿形式の滞在型WSを行なった。

基礎的な調査から、まち歩きしての可能性調査、ぎふまちづくりセンターの西村貢理事長から岐阜の街区や岐阜のまちづくりに関する要点や注意点のレク、さらには岐阜大学竹内伝史研究室を訪ねて公共交通とその計画に関するレク、合宿地となった織田信長ゆかりの円徳寺住職から地域の歴史に関するレク、UFJ総研(当時)の永柳弘上席研究員からフィジビリティスタディに関するレクを受けた上で、アイデアを総合化し、計画をまとめデザインを進めた。

4点に絞り込んで制作を進め、現地で講評を受けた。仕上げに当たっては柘植喜治助教授(当時。現教授)からのチェックを踏まえ、4案それぞれの特長を一層強め、再度の裏づけ調査を経て完成させた。

その後これらは、岐阜市主催の景観フォーラムでお披露目され、場内で岐阜市副市長からの講評を受けた。



デザインキャンプ 滞在型WSによる、 岐阜駅前広場のデザイン

